

お知らせ

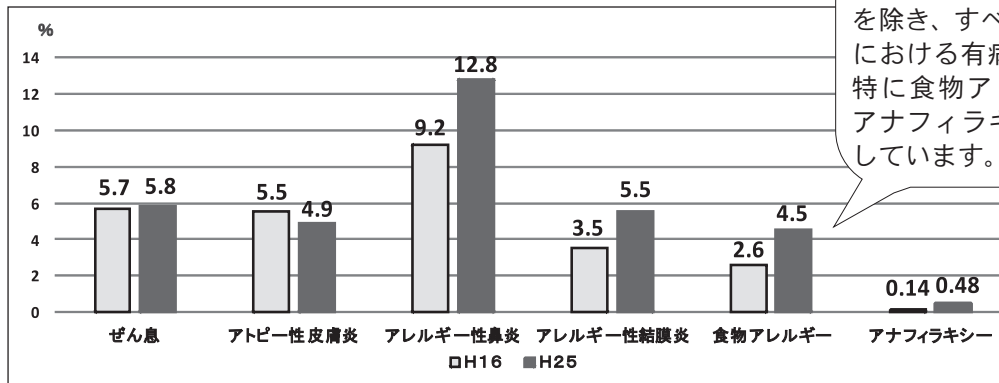
学校生活管理指導表(アレルギー疾患用)の活用について

◇北海道教育委員会◇

アレルギー疾患を有する児童生徒は、確実に増加しており、学校において適切な対応が求められています。アレルギー対応の基本は、医師の診断を踏まえた児童生徒の正確な状況を把握することであり、学校生活管理指導表(アレルギー疾患用)の活用が重要となっております。主治医の皆様には、主旨をご理解いただき、記載へのご協力をお願いします。

児童生徒のアレルギー疾患有病率

【全国の状況】(小・中・高のアレルギー疾患の罹患数)



約10年間で、アトピー性皮膚炎を除き、すべてのアレルギー疾患における有病率が増加しており、特に食物アレルギーは1.7倍に、アナフィラキシーは3.4倍に増加しています。

(「平成25年度学校生活管理に関する調査報告書」平成26年4月 公益財団法人 日本学校保健会)

学校生活管理指導表について

◆アレルギー疾患に対する取組のポイント◆

学校がアレルギー疾患の児童生徒に対する取組を進めていくためには、学校生活での配慮や管理に生かすことのできる個々の児童生徒の詳細な情報を把握していく必要があります。そのためには、**主治医によって記載され**、保護者によって学校に届けられる**学校生活管理指導表(アレルギー疾患用)**を用いることが効果的です。

【正確な情報の把握・共有】

- 各疾患の特徴をよく知ること
- 個々の児童生徒の症状等の特徴を把握すること
- 症状が急速に変化するを理解し、日頃から緊急時の対応への準備を行っておくこと

これらを総括できるフォーマットが必要

学校生活管理指導表(アレルギー疾患用)

※管理指導表は、症状等に変化がない場合であっても、学校における配慮や管理が必要な間は、少なくとも毎年、保護者に提出を求めています。記載に当たっては、向こう1年間を通して考えられる学校生活上の配慮事項を記載するようお願いします。

※学校生活管理指導表(アレルギー疾患用)の詳細については、本号附録「活用のしおり」をご覧ください。

◆主治医のみなさまへ◆

学校生活管理指導表への記載にご協力をお願いします。

保護者の求めに応じ、学校生活管理指導表への記載をお願いします。北海道は、特に食物アレルギーをはじめとしたアレルギー疾患の専門医が少ないことに加え、その多くが都市部に集中しています。

必要に応じ、保護者にアレルギー専門医を紹介するなどの情報提供にもご協力いただくよう併せてお願いします。